



第64号 平成14年10月1日(季刊) 田中野田町内会
http://townweb.litcity.ne.jp/tanakanoda/

学校5日制の実施について

町内会長 和気 加太志

私は昭和49年に文部省派遣で、欧米の教育事情を視察したことがあります。欧米ではその時すでに学校5日制で土曜日が休日になっていました。我が国でも本年度より学校5日制が実施されました。この制度の導入に当たり、平成4年より月に一度土曜休日とし、さらに7年より月二度にするなど移行措置がとられ、この度全面実施の運びとなりました。

土曜休日になれば、学力低下を懸念する声も聞かれます。現況では肯定すべき点もないとはいえませんが、学力とは何か、何が基礎学力なのか原点に戻り、考え直す時期ではないかと思えます。人づくりの立場から新しい学力観の確立が切望されています。

戦後家庭教育は無力化し、本来果たすべき機能が消失してきていると云われています。このことは誠に由々しい問題であります。その原因は多岐多様であり、簡単に解消できる問題とは考えられませんが、土曜休日実施に伴い、家庭教育の重要性を再認識し、改善していく絶好の機会と考えます。欧米では、土・日曜日は家族と共に教会に行くなど、教育的配慮がなされていると聞いています。それぞれの家庭や子供の実態に適合した、家庭独自の望ましい生活や教育のあり方を模索し実践して、その成果を町内の「ふれあい新聞」等に紹介して頂ければ幸いです。

次に、地域社会での生活について考えますと、子どもが子供の頃のような地域での自由奔放な遊びが姿を消した現在、子供達の健全育成の上から、自然や社会とのふれ合い体験、勤労体験など、仕組みた体験学習が尊重されるようになり、その整備が進められています。

子どもの地域では、その一環として旧白石幼稚園跡地を活用し、親子土曜塾が本年8月より開かれています。具体的な活動としては、親子いっしょの魚取り、植物観察、キャンプ等多様な活動が行われています。

田中野田では今、岡山市が進めているモデル電子町内会に取り組みんでいます。子供の家庭や地域社会の中での土曜日の暮らしを内外に紹介するホームページをつくることも、今日的課題として有意義と思えます。

週5日制は世界的な流れであり、田中野田としてもこれに適合した子供達のための環境づくりを進めていきたいと思えますので、ご協力の程よろしく願います。

第19回夏まつりによせて

実行委員長 石井 平

今年で19回を迎えた田中野田夏まつりは、8月11日に開催され、盛大に、また事故もなく終えることができ、お礼を申し上げます。

私は、昨年4月から町内会で7組のお世話をさせていただいておりますが、町内の最大のイベントである夏まつりの委員長をやれと言われ、できるだろうかと思いましたが、会長さんからみんなでやる行事だからと言われるのでお引き受けしました。

会合を重ねるうちに子ども会、体協、婦人部、老人会など役割を分担して、本当に町内全体でこのまつりを盛り上げているのだなと言うことを実感しました。会合の内容は、恒例の催し物、今年独自のアトラクション、予算、スケジュールなど多岐にわたりましたがスムーズに運びました。また、事前の準備や後片付けなども朝早くから手際よく行われました。とりわけ暑い中、本当にありがとうございました。

そして、まつりの当日は天気もよく大変な人出で賑わい、大成功裡に終了のように感じました。終わってから、私なりの感想として、

(1) 町内のまつりとは思えないほど賑やかだったこと。

(2) 催し物もたくさんあり充実した内容だったこと。

次に、反省点として

(1) 人出予測ができず、焼きそばなど食べ物類が早く切れたこと。

(2) 食券を待参された方に渡せず、ご迷惑をかけたこと。

(3) 歌謡ショーなどでタイムオーバーし、盆踊りが2曲で終わったこと。(当日の時間配分の考慮不足による)

などです。委員長として足りない面が多々ありましたが皆様のご協力により、なんとか終了のことを改めて感謝いたします。またこの反省を活かされ、来年の夏まつりがより盛大でありますようお祈りします。



夏まつりの思い出

(5年) 板谷 大輝

「ソイヤソイヤソイヤソイヤ」ぼくの一番もり上がるクライマックス。5年生になって、やっと夏まつりで祭り太鼓ができた。男の子の晴れ舞台。出番が待ち遠しかった。

舞台上になると、お客さんが思ったよりたくさんでびっくりした。きん張感が余計高まった。ぼくは、今までの力をだしきってがんばった。そしてぼくらの祭り太鼓は大成功。

実は初め、ぼく達5年生6人しか参加者がいなかった。それにみんな初ちょう戦だった。そんなとき先ばいのお兄さん達がたすけてくれた。とくにむずかしいしめ太鼓も、先ばいがひきうけてくれたのでよかった。太鼓が大成功したのは先ばい達のおかげだと思う。そして教えて下さった山上先生、お世話になったたくさんの方々へ感謝したいと思う。

銭だいで

(6年) 高橋 紅美

私は、6年生なので今年3回目、最後の銭だいででした。3回のうち今年が一番、むずかしかったような気がしました。けれど、「きよしのズンドコ節」という曲が良かったので、すんなりと練習が進み、みんなの息も合ってきました。リハーサルの時は立ち位置を確にんし、礼をするタイミングも覚えたので、気持ちが落ち着いてきました。

いよいよ本番になって、とてもドキドキしました。ステージに上がって、ライトがまぶしくてお客さんがよく見えなく感じました。

銭だいでは、まちがえずにできてよかったです。見てくれていた人達がたくさんはく手をしてくれたので、うれしかったです。銭だいで何回かのおみなさん、ありがとうございました。今年も夏まつりで良い思い出ができました。

田中野田の町歌・町旗の設定について

近時、田中野田にも町歌や町旗を作ったらどうかという声があり、その気運が高まりつつあるように思っていました。そこで町内会の役員にご相談申し上げたところ、反対の意見はなく、公募して作ってはということでした。もちろん、せっかく作っても活用されなければなりません。作ることに賛否と、賛成の方は設定方法(公募・指名依頼など)について、町内の皆さんのご意見をお聞かせください。なお、公会堂の前に設置している投稿箱を利用して頂ければ有難いです。(町内会長)